

# MS842/MS842P

## 連結QRコード読取、GS1バーコード編集 設定パラメーター一覧



ファームウェア「PAABLC04-004-N04」対応

ファームウェア「PAABLC04-004-R00」対応

**Version 1.2**

## 対応ファームウェアについて

連結QRの読取り及びGS1バーコードのデータ編集を行うには、MS842のファームウェアバージョンが「PAABLC04-004-N04」または「PAABLC04-004-R00」へアップデートされている必要があります。

ご利用中のMS842のファームウェアバージョンを確認するには、メモ帳などのテキスト入力可能なアプリケーションを起動した状態で「ファームウェア確認」を読取ってください。正常に読み取るとファームウェアのテキストが出力されます。



ファームウェア確認

## ファームウェアアップデートについて

MS842のファームウェアアップデートは弊社にて承っております。本書内の機能が必要なお客様は、弊社担当へご相談ください。

お問い合わせ先

Eメール：info@jp.ute.com

電話番号：03-3523-2766（代）

## 記号（括弧など）が正常に表示されない場合

各スキャナのキーボードレイアウト設定を、接続している機器に適した言語へ変更してください。キーボードレイアウト変更については、各スキャナのユーザーマニュアルをご確認ください。

MS842-2UCB00-SG または MS842-DUCB00-SG

[MS842 製品ページ](#)

MS842-2UPBGC-SG または MS842-DUPBGC-SG

[MS842P 製品ページ](#)

## 目次

対応ファームウェアについて.....	2
ファームウェアアップデートについて.....	2
記号（括弧など）が正常に表示されない場合.....	2
<b>連結（分割）QRコードの読取り.....</b>	<b>5</b>
1. 連結QRコードを読取る.....	5
<b>GS1バーコードの編集機能.....</b>	<b>6</b>
1. (AI)を括弧付きで出力する.....	6
2. (AI)を削除して出力する.....	7
3. データの前後に文字を追加して出力する(Prefix/Suffix).....	8
3.1. Prefixの追加について.....	9
3.2. Suffixの追加について.....	10
3.3. Prefix/Suffix設定用バーコード.....	11
3.4. 設定例1：(AI)データをカンマで区切って出力.....	21
3.5. 設定例2：(AI)データを<TAB>で区切って出力.....	22
3.6. 設定例3：(AI)データの前後に<STX><ETX>を追加して出力.....	23
3.7. 設定例4：(AI)データをそれぞれ異なる文字で区切って出力.....	24
3.8. Prefix/Suffixの一括削除.....	25
4. 数字データにドットを追加して出力する.....	26
5. 日付データの日（DAY）を削除して出力する.....	27
6. データの途中で区切り文字追加して出力する.....	28
7. <FNC1>を任意の文字に置換する.....	30
8. 任意のデータを選択し順序を変更して出力する.....	32
8.1. 選択出力設定用バーコード.....	33
8.2. 設定例1：指定した(AI)順に出力.....	35
8.3. 設定例2：指定した(AI)のみ出力.....	36
8.4. 設定例3：指定した(AI)のみ、指定した順に出力.....	37
<b>付録A. ファンクションキーマッピング設定.....</b>	<b>38</b>
<b>付録B. 数字バーコード.....</b>	<b>39</b>
<b>付録C. 使用可能文字一覧表.....</b>	<b>41</b>
1. USB HIDキーボード用文字セット.....	41
2. USB シリアル用文字セット.....	47
<b>付録D. サンプルバーコード.....</b>	<b>53</b>



# 連結（分割）QRコードの読取り

## 1. 連結QRコードを読取る

この機能を有効にするには「通常/連結QRコード 有効」を読取ってください。無効にするには「通常/連結QRコード 無効」を読取ってください。通常は「有効」に設定されています。

QRコード内に日本語または全角文字が含まれる場合は、RS232CケーブルまたはUSB仮想COMにてご使用ください。



通常/連結QRコード 有効



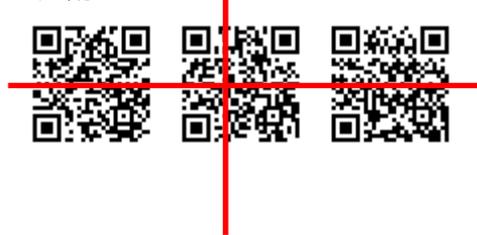
通常/連結QRコード 無効

連結QRコードを読取る場合、MS842より照射される十字のレーザーが、読取りたい連結QRコードの中心にくるようにしてください。

2分割



3分割



# GS1バーコードの編集機能

## 1. (AI)を括弧付きで出力する

この機能を有効にするには「括弧付き(AI) 有効」を読取ってください。無効にするには「括弧付き(AI) 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



括弧付き(AI) 有効



括弧付き(AI) 無効

[ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

(01)14512345678903(17)131231(20)AB

## 2. (AI)を削除して出力する

この機能を有効にするには「(AI)削除 有効」を読取ってください。無効にするには「(AI)削除 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



(AI)削除 有効



(AI)削除 無効

[ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

14512345678903131231AB

### 3. データの前後に文字を追加して出力する(Prefix/Suffix)

(AI)データ毎にPrefix/Suffixを追加して出力することができます。追加する文字は「付録C. 使用可能文字一覧表 (41ページ～)」から選ぶことができます。「USB HIDキーボード用文字セット (41ページ～)」を使用する場合は、「付録A. ファンクションキーマッピング設定 (38ページ)」もご覧ください。

Prefixは接頭文字、Suffixは接尾文字です。PrefixのみSuffixのみの設定や、すべてを異なる文字に指定することもできます。

この機能は、(AI)の文字置換ではありません。例えば(AI)が(01)、(17)、(20)のデータ前に「+」、後に「@」を追加した場合は次のようになります。

[ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

(AI)削除無効

01+14512345678903@17+131231@20+AB@

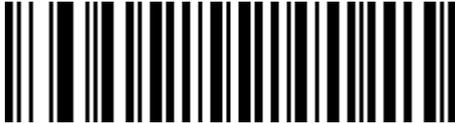
(AI)削除有効

+14512345678903@+131231@+AB@

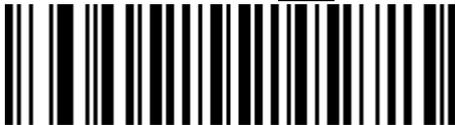
設定方法については次ページ以降をご覧ください。

### 3.1. Prefixの追加について

この機能を有効にするには「Prefix追加 有効」を読取ってください。無効にするには「Prefix追加 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



Prefix追加 有効



Prefix追加 無効

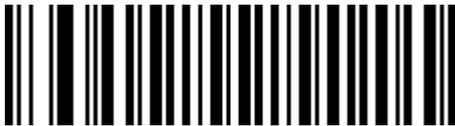
Prefix追加機能は、10個の異なる(AI)に対応した設定を保存しておくことが可能です。設定方法は次のとおりです。

1. 「Prefix追加 有効」を読取ってください。
2. 「Set Prefix/Suffix AI」を読取ってください。
3. 設定する(AI)を「数字バーコード」を使用して、4ケタで指定してください。(AI)が4ケタ未満の場合は、先頭に「0」を追加してください。
4. 「Set AI Prefix」を読取ってください。
5. 追加する文字を「数字バーコード」を使用して、「付録C. 使用可能文字一覧表 (41ページ～)」のPrefix/Suffix値で指定してください。

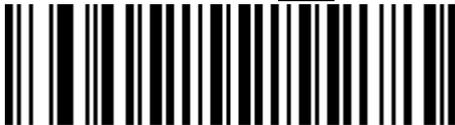
保存した設定を消去するには、対応する「Clear」を読取ってください。

### 3.2.Suffixの追加について

この機能を有効にするには「Suffix追加 有効」を読取ってください。無効にするには「Suffix追加 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



Suffix追加 有効



Suffix追加 無効

Suffix追加機能は、10個の異なる(AI)に対応した設定を保存しておくことが可能です。また、1つの(AI)に対して2つのSuffixを指定することができます。設定方法は次のとおりです。

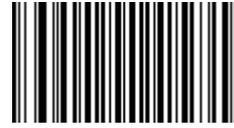
1. 「Suffix追加 有効」を読取ってください。
2. 「Set Prefix/Suffix AI」を読取ってください。
3. 設定する(AI)を「数字バーコード」を使用して、4ケタで指定してください。(AI)が4ケタ未満の場合は、先頭に「0」を追加してください。
4. 「Set AI Suffix」を読取ってください。
5. 追加する文字を「数字バーコード」を使用して、「付録C. 使用可能文字一覧表 (41ページ～)」のPrefix/Suffix値で指定してください。

保存した設定を消去するには、対応する「Clear」を読取ってください。

### 3.3.Prefix/Suffix設定用バーコード



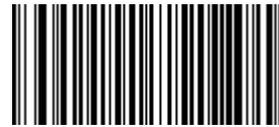
Clear Prefix/Suffix All



Set Prefix/Suffix All



Clear All Prefix



Set All Prefix



Clear All Suffix 1



Set All Suffix 1



Clear All Suffix 2



Set All Suffix 2



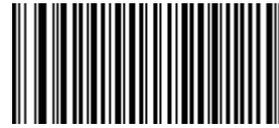
Clear Prefix/Suffix AI2



Set Prefix/Suffix AI2



Clear AI2 Prefix



Set AI2 Prefix



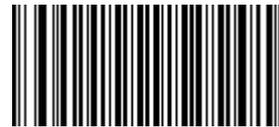
Clear AI2 Suffix 1



Set AI2 Suffix 1



Clear AI2 Suffix 2



Set AI2 Suffix 2



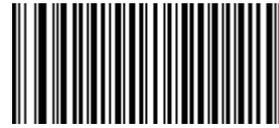
Clear Prefix/Suffix A13



Set Prefix/Suffix A13



Clear A13 Prefix



Set A13 Prefix



Clear A13 Suffix 1



Set A13 Suffix 1



Clear A13 Suffix 2



Set A13 Suffix 2



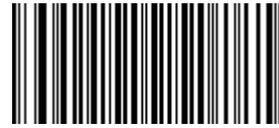
Clear Prefix/Suffix A14



Set Prefix/Suffix A14



Clear A14 Prefix



Set A14 Prefix



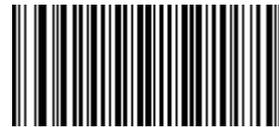
Clear A14 Suffix 1



Set A14 Suffix 1



Clear A14 Suffix 2



Set A14 Suffix 2



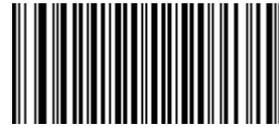
Clear Prefix/Suffix A15



Set Prefix/Suffix A15



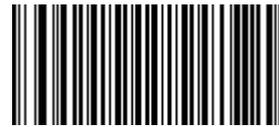
Clear A5 Prefix



Set A5 Prefix



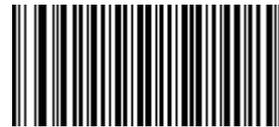
Clear A15 Suffix 1



Set A15 Suffix 1



Clear A15 Suffix 2



Set A15 Suffix 2



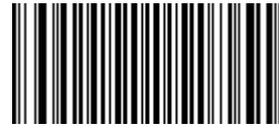
Clear Prefix/Suffix A16



Set Prefix/Suffix A16



Clear A16 Prefix



Set A16 Prefix



Clear A16 Suffix 1



Set A16 Suffix 1



Clear A16 Suffix 2



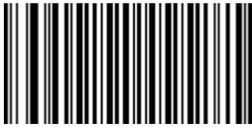
Set A16 Suffix 2



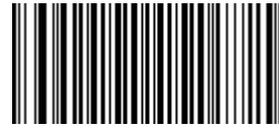
Clear Prefix/Suffix A17



Set Prefix/Suffix A17



Clear A17 Prefix



Set A17 Prefix



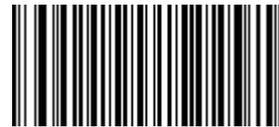
Clear A17 Suffix 1



Set A17 Suffix 1



Clear A17 Suffix 2



Set A17 Suffix 2



Clear Prefix/Suffix A18



Set Prefix/Suffix A18



Clear A18 Prefix



Set A18 Prefix



Clear A18 Suffix 1



Set A18 Suffix 1



Clear A18 Suffix 2



Set A18 Suffix 2



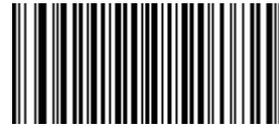
Clear Prefix/Suffix A19



Set Prefix/Suffix A19



Clear A19 Prefix



Set A19 Prefix



Clear A19 Suffix 1



Set A19 Suffix 1



Clear A19 Suffix 2



Set A19 Suffix 2



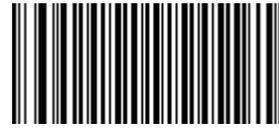
Clear Prefix/Suffix A110



Set Prefix/Suffix A110



Clear A110 Prefix



Set A110 Prefix



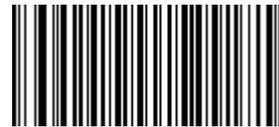
Clear A110 Suffix 1



Set A110 Suffix 1



Clear A110 Suffix 2



Set A110 Suffix 2

### 3.4.設定例1：(AI)データをカンマで区切って出力

(AI)を削除し、データをカンマで区切って出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。

#### [ 概要 ]

(01)、(17)のSuffixにカンマを追加します。カンマのPrefix/Suffix値は「1044」です。

#### [ 設定方法 ]

1. 「Suffix追加 有効」を読取ります。
2. 「Set Prefix/Suffix AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
4. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「1>0>4>4」の順番に読取ります。
6. 「Set Prefix/Suffix AI2」を読取ります。
7. 「数字バーコード」を使用して「0>0>1>7」の順番に読取ります。
8. 「Set AI2 Suffix 1」を読取ります。
9. 「数字バーコード」を使用して「1>0>4>4」の順番に読取ります。

#### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

14512345678903,131231,AB

### 3.5.設定例2：(AI)データを<TAB>で区切って出力

(AI)を削除し、データを<TAB>で区切って出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。<TAB>を出力するには「付録A. ファンクションキーマッピング設定(38ページ)」もご覧ください。

#### [ 概要 ]

(01)、(17)のSuffixに<TAB>を追加します。<TAB>のPrefix/Suffix値は「1009」です。

#### [ 設定方法 ]

1. 「Suffix追加 有効」を読取ります。
2. 「Set Prefix/Suffix AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
4. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>9」の順番に読取ります。
6. 「Set Prefix/Suffix AI2」を読取ります。
7. 「数字バーコード」を使用して「0>0>1>7」の順番に読取ります。
8. 「Set AI2 Suffix 1」を読取ります。
9. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>9」の順番に読取ります。

#### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

14512345678903<TAB>131231<TAB>AB

### 3.6.設定例3：(AI)データの前後に<STX><ETX>を追加して出力

(AI)を削除し、データの前に<STX>データの後ろに<ETX>を追加して出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。<STX><ETX>はHIDキーボードでは出力できませんので、RS232CケーブルまたはUSB仮想COMにてご利用ください。

#### [ 概要 ]

(01)、(17)、(20)のPrefixに<STX>を、Suffixに<ETX>を追加します。<STX>のPrefix/Suffix値は「1002」、<ETX>のPrefix/Suffix値は「1003」です。

#### [ 設定方法 ]

1. 「Prefix追加 有効」を読取ります。
2. 「Suffix追加 有効」を読取ります。
3. 「Set Prefix/Suffix AI1」を読取ります。
4. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
5. 「Set AI1 Prefix」を読取ります。
6. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>2」の順番に読取ります。
7. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
8. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>3」の順番に読取ります。
9. 「Set Prefix/Suffix AI2」を読取ります。
10. 「数字バーコード」を使用して「0>0>1>7」の順番に読取ります。
11. 「Set AI2 Prefix」を読取ります。
12. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>2」の順番に読取ります。
13. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
14. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>3」の順番に読取ります。
15. 「Set Prefix/Suffix AI3」を読取ります。
16. 「数字バーコード」を使用して「0>0>2>0」の順番に読取ります。
17. 「Set AI3 Prefix」を読取ります。
18. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>2」の順番に読取ります。
19. 「Set AI3 Suffix 1」を読取ります。
20. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>3」の順番に読取ります。

#### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

<STX>14512345678903<ETX><STX>131231<ETX><STX>AB<ETX>

3 データの前後に文字を追加して出力する(Prefix/Suffix)

3.6 設定例3：(AI)データの前後に<STX><ETX>を追加して出力

### 3.7.設定例4：(AI)データをそれぞれ異なる文字で区切って出力

(AI)を削除し、データをそれぞれ任意の別の文字で区切って出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。<ENTER><TAB>を出力するには「付録A. ファンクションキーマッピング設定(38ページ)」もご覧ください。

#### [ 概要 ]

(01)のSuffixに<ENTER>を、(17)のSuffixに<TAB>を追加します。<ENTER>のPrefix/Suffix値は「1013」、<TAB>のPrefix/Suffix値は「1009」です。

#### [ 設定方法 ]

1. 「Suffix追加 有効」を読取ります。
2. 「Set Prefix/Suffix AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
4. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「1>0>1>3」の順番に読取ります。
6. 「Set Prefix/Suffix AI2」を読取ります。
7. 「数字バーコード」を使用して「0>0>1>7」の順番に読取ります。
8. 「Set AI1 Suffix 1」を読取ります。
9. 「数字バーコード」を使用して「1>0>0>9」の順番に読取ります。

#### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

14512345678903<ENTER>131231<TAB>AB

### 3.8.Prefix/Suffixの一括削除

(AI)リストはそのまま、Prefix/Suffix文字リストを一括消去したい場合は、「Prefix/Suffix文字リスト消去」を読取ってください。



Prefix/Suffix文字リスト消去

Prefix/Suffix文字リストはそのまま、(AI)リストのみ削除したい場合は、「(AI)リスト消去」を読取ってください。



(AI)リスト消去

\* (AI)リスト・・・「Set Prefix/Suffix AI」の設定リスト

\* Prefix/Suffix文字リスト・・・「Set AI Prefix」「Set AI Suffix 1 および 2」の設定リスト

## 4. 数字データにドットを追加して出力する

この機能を有効にするには「ドット追加 有効」を読取ってください。無効にするには「ドット追加 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



ドット追加 有効



ドット追加 無効

この機能が有効な(AI)は以下を参照してください。

310x、311x、312x、313x、314x、315x、316x、320x、321x、  
 322x、323x、324x、325x、326x、327x、328x、329x、330x、  
 331x、332x、333x、334x、335x、336x、337x、340x、341x、  
 342x、343x、344x、345x、346x、347x、348x、349x、350x、  
 351x、352x、353x、354x、355x、356x、360x、361x、362x、  
 363x、364x、365x、366x、367x、368x、369x

(AI)のxはドットの追加される位置に使用されています。(AI)が(3103)であればデータの最後から3桁目にドットが追加されます。

[ サンプルバーコード 1 ]



(01)14512345678903(17)131231(3103)123456

出力例

(01)14512345678903(17)131231(3103)123.456

[ サンプルバーコード 2 ]



(01)14512345678903(17)131231(3102)123456

出力例

(01)14512345678903(17)131231(3102)1234.56

## 5. 日付データの日 (DAY) を削除して出力する

この機能を有効にするには「DAY削除 有効」を読取ってください。無効にするには「DAY削除 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



DAY削除 有効



DAY削除 無効

この機能が有効な(AI)は以下を参照してください。

11、12、13、15、17

これらの(AI)は、データのフォーマットがYYMMDDとなります。この機能では、DDの値が「00」のときは削除して出力し、DDの値が「00」以外であればそのまま出力します。

[ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131200(20)AB

出力例

(01)14512345678903(17)1312(20)AB

## 6. データの途中に区切り文字追加して出力する

この機能を有効にするには「データ区切り追加 有効」を読取ってください。無効にするには「データ区切り追加 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



この機能が有効な(AI)は以下を参照してください。

1. 4 2 1 . . . . データフォーマット 「n3 + an...9」
2. 8 0 0 3 . . . . データフォーマット 「n14 + an...16」
3. 8 0 0 6 . . . . データフォーマット 「n14 + n2 + n2」
4. 8 1 0 0 . . . . データフォーマット 「n1 + n5」
5. 8 1 0 1 . . . . データフォーマット 「n1 + n5 + n4」
6. 8 1 0 2 . . . . データフォーマット 「n1 + n1」

n = 数字 (例：n3 = 固定3桁の数字)

an = 英数字 (例：an...9 = 9桁以下の英数字)

この機能が有効の場合、上記データフォーマット内の「+」の位置に「データ区切り」が追加されません。データ区切りの文字は任意に変更が可能です。標準で<Ctrl+M>/<ENTER>となります。

[ サンプルバーコード 1 ]



(01)14512345678903(17)131231(421)3921040033

出力例

(01)14512345678903(17)131231(421)392<ENTER>1040033

## GS1バーコードの編集機能

データ区切り文字は文字一覧から選択して変更することができます。変更したい場合は「データ区切り変更」を読取ってから文字一覧のPrefix/Suffix値4桁を「数字バーコード」を使用して読取ってください。



データ区切り変更

データ区切りを変更する方法は次の手順をご覧ください。例ではデータ区切りをカンマに変更しています。カンマのPrefix/Suffix値は「1044」です。

1. 「データ区切り変更」を読取ります。
2. 「数字バーコード」を使用して「1>0>4>4」の順番に読取ります。
3. 「データ区切り追加 有効」を読取ります。

## [ サンプルバーコード 2 ]



(01)14512345678903(17)131231(421)3921040033

出力例

(01)14512345678903(17)131231(421)392,1040033

## 7. <FNC1>を任意の文字に置換する

この機能を有効にするには「FNC1置換 有効」を読取ってください。無効にするには「FNC1置換 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



FNC1置換 有効



FNC1置換 無効

GS1バーコードに<FNC1>が含まれている場合、その<FNC1>を文字に置換して出力します。置換される文字は任意に変更が可能です。標準では<Ctrl+M>/<ENTER>に置換されます。

[ サンプルバーコード 1 ]



(01)14512345678903(30)123456(17)131231

出力例

(01)14512345678903(30)123456<ENTER>(17)131231

置換文字は文字一覧から選択して変更することができます。変更したい場合は「置換文字変更」を読取ってから文字一覧のPrefix/Suffix値4桁を「数字バーコード」を使用して読取ってください。



置換文字変更

置換文字を変更する方法は次の手順を参考にしてください。例では置換文字を<GS>に変更しています。<GS>のPrefix/Suffix値は「1029」です。

1. 「置換文字変更」を読取ります。
2. 「数字バーコード」を使用して「1>0>2>9」の順番に読取ります。
3. 「FNC1置換 有効」を読取ります。

[ サンプルバーコード 2 ]



(01)14512345678903(30)123456(17)131231

出力例

(01)14512345678903(30)123456<GS>(17)131231

## 8. 任意のデータを選択し順序を変更して出力する

この機能を有効にするには「選択出力 有効」を読取ってください。無効にするには「選択出力 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



選択出力 有効



選択出力 無効

この機能は、(AI)のデータを任意の順序に変更して出力したり、選択した(AI)のデータのみを出力したりすることが可能です。「Set Order AI1」から「Set Order AI10」まで10個の設定が可能で、設定された(AI)以外のデータは出力しません。また、「Set Order AIx」の「x」は出力する順番です。

設定方法は次の通りです。保存した設定を消去するには、対応する「Clear」を読ってください。

1. 「選択出力 有効」を読取ってください。
2. 「Set Order AI1」を読取ってください。
3. 設定する(AI)を「数字バーコード」を使用して、4ケタで指定してください。(AI)が4ケタ未満の場合は、先頭に「0」を追加してください。
4. 以降「Set Order AI10」まで設定することができます。

## 8.1. 選択出力設定用バーコード



Clear Order A11



Set Order A11



Clear Order A12



Set Order A12



Clear Order A13



Set Order A13



Clear Order A14



Set Order A14



Clear Order A15



Set Order A15

8 任意のデータを選択し順序を変更して出力する

8.1 選択出力設定用バーコード



Clear Order A16



Set Order A16



Clear Order A17



Set Order A17



Clear Order A18



Set Order A18



Clear Order A19



Set Order A19



Clear Order A110



Set Order A110

8 任意のデータを選択し順序を変更して出力する

8.1 選択出力設定用バーコード

## 8.2.設定例1：指定した(AI)順に出力

(AI)を削除し、指定した(AI)の順番にデータを出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。

### [ 概要 ]

(20)、(01)、(17)の順番に出力します。

### [ 設定方法 ]

1. 「選択出力 有効」を読取ります。
2. 「Set Order AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>2>0」の順番に読取ります。
4. 「Set Order AI2」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
6. 「Set Order AI3」を読取ります。
7. 「数字バーコード」を使用して「0>0>1>7」の順番に読取ります。

### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

AB14512345678903131231

### 8.3.設定例2：指定した(AI)のみ出力

(AI)を削除し、指定した(AI)のデータのみを出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する (6ページ)」を参照してください。

#### [ 概要 ]

(01)と(20)のデータのみ出力します。

#### [ 設定方法 ]

1. 「選択出力 有効」を読取ります。
2. 「Set Order AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。
4. 「Set Order AI2」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「0>0>2>0」の順番に読取ります。

#### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

14512345678903AB

## 8.4.設定例3：指定した(AI)のみ、指定した順に出力

(AI)を削除し、指定した(AI)のデータのみを指定した順番に出力します。(AI)削除の設定は別途「(AI)を削除して出力する(6ページ)」を参照してください。

### [ 概要 ]

(01)と(20)のデータのみを、(20)>(01)の順番に出力します。

### [ 設定方法 ]

1. 「選択出力 有効」を読取ります。
2. 「Set Order AI1」を読取ります。
3. 「数字バーコード」を使用して「0>0>2>0」の順番に読取ります。
4. 「Set Order AI2」を読取ります。
5. 「数字バーコード」を使用して「0>0>0>1」の順番に読取ります。

### [ サンプルバーコード ]



(01)14512345678903(17)131231(20)AB

出力例

AB14512345678903

## 付録A. ファンクションキーマッピング設定

この機能を有効にするには「ファンクションキーマッピング 有効」を読取ってください。無効にするには「ファンクションキーマッピング 無効」を読取ってください。通常は「無効」に設定されています。



ファンクションキーマッピング 有効



ファンクションキーマッピング 無効

この機能を有効にすると付録C. 使用可能文字一覧表「USB HIDキーボード用文字セット」の**太字**で示されたキーが送信されるようになります。この機能の設定値にかかわらず、太字のキーが設定されていないものは標準のキーが送信されます。

## 付録B. 数字バーコード

パラメータ設定を行う際に使用する数字バーコードです。1桁ずつ順番に読取ってください。



0



2



4



6



8



1



3



5



7



9

付録B. 数字バーコード

設定を途中でキャンセルした場合は、「キャンセル」を読取ってください。



キャンセル

## 付録C. 使用可能文字一覧表

### 1. USB HIDキーボード用文字セット

設定を行う場合には「Prefix/Suffix 値」の4桁の数字を「数字バーコード」を使用して指定してください。実際に出力されるキーボードの動作は、「キーストローク」を参照してください。

キーストローク欄の**太字**はファンクションキーのマッピングが有効の場合のみ送信されます。例として、Prefix/Suffix値「1009」の場合では、無効の場合は<CTRL+I>が、有効の場合は<**TAB**>が送信されます。

ファンクションキーのマッピング設定は、付録A. ファンクションキーマッピング設定（37ページ）をご覧ください。

Prefix/Suffix 値	フル ASCII Code 39 エンコード文字	キーストローク
1000	%U	CTRL + 2
1001	\$A	CTRL + A
1002	\$B	CTRL + B
1003	\$C	CTRL + C
1004	\$D	CTRL + D
1005	\$E	CTRL + E
1006	\$F	CTRL + F
1007	\$G	CTRL + G
1008	\$H	CTRL + H / <b>BACKSPACE</b>
1009	\$I	CTRL + I / <b>TAB</b>
1010	\$J	CTRL + J
1011	\$K	CTRL + K
1012	\$L	CTRL + L

付録C. 使用可能文字一覧表

1013	\$M	CTRL + M / <b>ENTER</b>
1014	\$N	CTRL + N
1015	\$O	CTRL + O
1016	\$P	CTRL + P
1017	\$Q	CTRL + Q
1018	\$R	CTRL + R
1019	\$S	CTRL + S
1020	\$T	CTRL + T
1021	\$U	CTRL + U
1022	\$V	CTRL + V
1023	\$W	CTRL + W
1024	\$X	CTRL + X
1025	\$Y	CTRL + Y
1026	\$Z	CTRL + Z
1027	%A	CTRL + [ / <b>ESC</b>
1028	%B	CTRL + \
1029	%C	CTRL + ]
1030	%D	CTRL + 6
1031	%E	CTRL + -
1032	Space	Space
1033	/A	!
1034	/B	"
1035	/C	#
1036	/D	\$
1037	/E	%

付録C. 使用可能文字一覧表

1038	/F	&
1039	/G	'
1040	/H	(
1041	/I	)
1042	/J	*
1043	/K	+
1044	/L	,
1045	-	-
1046	.	.
1047	/O	/
1048	0	0
1049	1	1
1050	2	2
1051	3	3
1052	4	4
1053	5	5
1054	6	6
1055	7	7
1056	8	8
1057	9	9
1058	/Z	:
1059	%F	;
1060	%G	<
1061	%H	=
1062	%I	>

付録C. 使用可能文字一覧表

1063	%J	?
1064	%V	@
1065	A	A
1066	B	B
1067	C	C
1068	D	D
1069	E	E
1070	F	F
1071	G	G
1072	H	H
1073	I	I
1074	J	J
1075	K	K
1076	L	L
1077	M	M
1078	N	N
1079	O	O
1080	P	P
1081	Q	Q
1082	R	R
1083	S	S
1084	T	T
1085	U	U
1086	V	V
1087	W	W

付録C. 使用可能文字一覧表

1088	X	X
1089	Y	Y
1090	Z	Z
1091	%K	[
1092	%L	\
1093	%M	]
1094	%N	^
1095	%O	_
1096	%W	`
1097	+A	a
1098	+B	b
1099	+C	c
1100	+D	d
1101	+E	e
1102	+F	f
1103	+G	g
1104	+H	h
1105	+I	i
1106	+J	j
1107	+K	k
1108	+L	l
1109	+M	m
1110	+N	n
1111	+O	o
1112	+P	p

## 付録C. 使用可能文字一覧表

1113	+Q	q
1114	+R	r
1115	+S	s
1116	+T	t
1117	+U	u
1118	+V	v
1119	+W	w
1120	+X	x
1121	+Y	y
1122	+Z	z
1123	%P	{
1124	%Q	
1125	%R	}
1126	%S	~

## 2. USB シリアル用文字セット

設定を行う場合には「Prefix/Suffix 値」の4桁の数字を指定してください。  
RS232CケーブルまたはUSB仮想COM使用時に送信されるASCIIコードセットです。

Prefix/Suffix 値	16進	ASCII コード
1000	0x00	NUL
1001	0x01	SOH
1002	0x02	STX
1003	0x03	ETX
1004	0x04	EOT
1005	0x05	ENQ
1006	0x06	ACK
1007	0x07	BEL
1008	0x08	BS
1009	0x09	HT
1010	0x0A	LF / NL
1011	0x0B	VT
1012	0x0C	FF / NP
1013	0x0D	CR
1014	0x0E	SO
1015	0x0F	SI
1016	0x10	DLE
1017	0x11	DC1 / XON
1018	0x12	DC2
1019	0x13	DC3 / XOFF

付録C. 使用可能文字一覧表

1020	0x14	DC4
1021	0x15	NAK
1022	0x16	SYN
1023	0x17	ETB
1024	0x18	CAN
1025	0x19	EM
1026	0x1A	SUB
1027	0x1B	ESC
1028	0x1C	FS
1029	0x1D	GS
1030	0x1E	RS
1031	0x1F	US
1032	0x20	(スペース)
1033	0x21	!
1034	0x22	"
1035	0x23	#
1036	0x24	\$
1037	0x25	%
1038	0x26	&
1039	0x27	'
1040	0x28	(
1041	0x29	)
1042	0x2A	*
1043	0x2B	+
1044	0x2C	,

付録C. 使用可能文字一覧表

1045	0x2D	-
1046	0x2E	.
1047	0x2F	/
1048	0x30	0
1049	0x31	1
1050	0x32	2
1051	0x33	3
1052	0x34	4
1053	0x35	5
1054	0x36	6
1055	0x37	7
1056	0x38	8
1057	0x39	9
1058	0x3A	:
1059	0x3B	;
1060	0x3C	<
1061	0x3D	=
1062	0x3E	>
1063	0x3F	?
1064	0x40	@
1065	0x41	A
1066	0x42	B
1067	0x43	C
1068	0x44	D
1069	0x45	E

付録C. 使用可能文字一覧表

1070	0x46	F
1071	0x47	G
1072	0x48	H
1073	0x49	I
1074	0x4A	J
1075	0x4B	K
1076	0x4C	L
1077	0x4D	M
1078	0x4E	N
1079	0x4F	O
1080	0x50	P
1081	0x51	Q
1082	0x52	R
1083	0x53	S
1084	0x54	T
1085	0x55	U
1086	0x56	V
1087	0x57	W
1088	0x58	X
1089	0x59	Y
1090	0x5A	Z
1091	0x5B	[
1092	0x5C	\
1093	0x5D	]
1094	0x5E	^

付録C. 使用可能文字一覧表

1095	0x5F	-
1096	0x60	`
1097	0x61	a
1098	0x62	b
1099	0x63	c
1100	0x64	d
1101	0x65	e
1102	0x66	f
1103	0x67	g
1104	0x68	h
1105	0x69	i
1106	0x6A	j
1107	0x6B	k
1108	0x6C	l
1109	0x6D	m
1110	0x6E	n
1111	0x6F	o
1112	0x70	p
1113	0x71	q
1114	0x72	r
1115	0x73	s
1116	0x74	t
1117	0x75	u
1118	0x76	v
1119	0x77	w

## 付録C. 使用可能文字一覧表

1120	0x78	x
1121	0x79	y
1122	0x7A	z
1123	0x7B	{
1124	0x7C	
1125	0x7D	}
1126	0x7E	~

## 付録D. サンプルバーコード

---

連結QRコード



MS842 連結QRコード読み取りテストバーコード

---

GS1-128



(01)14512345678903(17)130431(30)300(10)0012341

---

GS1データバー スタック



(01)20012345678909

---

GS1合成シンボル (CC-A)



(01)14912345678901  
(17)151231(21)9876543210  
(91)333(92)77777777

---